

平成28年度 モニタリング報告書

施設名		京丹後市エコエネルギーセンター
指定管理者	名称	アマタ株式会社
	代表者	代表取締役 佐藤 博之
担当部課		市民環境部 市民環境課

1 利用状況

項目	前年	計画数値	実績数値	備考	
営業日数	257	257	256	日	
見学者	市内	120	150	106	人
	市外	242	300	213	人
	国外	2	5	0	人
見学者計	364	455	319	人	
市内家庭系生ごみ	1,041	5,000	1,412	H28～世帯数拡大一時停止	
公共施設系生ごみ	37	34	34	受入対象施設数	

2 事業収支

(単位：千円)

項目	前年実績 (A)	事業計画 (B)	実績 (C)	対前年比 C-A	対計画比 C-B	備考
業務料金収入	22,646	22,405	21,070	△1,576	△1,335	ガス量減
その他収入	34,920	33,757	35,856	936	2,099	自事補填
指定管理料	13,000	8,000	8,000	△5,000	0	運営計画
収入計	70,566	64,162	64,926	△5,640	764	
事業費	28,112	24,875	24,218	△3,894	△657	修繕費減
人件費	42,454	39,287	40,708	△1,746	1,421	効率化
支出計	70,566	64,162	64,926	△5,640	764	
収支差引	0	0	0	0	0	

3 指定管理者制度導入効果 (市直営では実施できなかったと思われる効果的・効率的業務改善内容など)

バイオマス利用、再生可能エネルギーの推進、ごみの再資源化と発生抑制、分別処理体制の構築にあたり、中核施設の運営管理等を専門的知識と技術、実績を有する指定管理者に委託し、原料調達から施設の安定稼働、需要家への対応まで、廃棄物の資源化利用サイクルを一括して行うことができた。  
また、原料調達、売電調整、共通業務それぞれに効率化等を図り指定管理料を減額した。

4 総合評価

新エネルギーの開発と活用促進、ゴミの削減と再資源化の推進という総合計画の項目に沿い、循環型社会の形成を図る拠点施設として、水準を満たす業務運営がなされていると評価する。  
一方、収入及び経営原資の柱を市外産業廃棄物の受入れに依存する業務形態であり、指定管理料の削減の対策とあわせ、本来有する施設の利用目的と公益性の持ち方について論点整理をした施設運営を要する。  
(H29年当初予算では、生ごみ処理委託料の増額が見込めないため指定管理料の増額変更を行った。)  
また施設にあっては、平成17年に実証施設として整備され12年が経過する構造物である。今年度にあつては結果的に修繕費が減少したものの、今後は設備、構造物それぞれにおいて大幅な増加が見込まれ、施設・事業の持続可能性議論とあわせた、ストックマネジメントに関する合意形成が必要となる。  
※平成29年10月31日をもって京丹後市エコエネルギーセンター条例が廃止。指定管理者による施設の管理運営を終了し、平成29年度をもって施設を閉鎖することが決定。